



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

J R 東日本労働組合
発責 組織情宣部
2023年10月10日 No.657

<2023年度年末手当シリーズ②>

今もなお続く家計を直撃する値上げ

消費者物価指数は前年よりも上昇 伸び率は横ばいで高止まり中!!

不安定な世界情勢等の影響を受け、様々な製品の原材料費が高騰しています。仕入れコストが上昇して既存の価格を維持できず、食品や日用品をはじめとした様々なものが現在も値上がりしている現状です。政府による電気、ガス、ガソリンの負担軽減策もありますが、エネルギー価格も高止まりを続けています。

《2023年度夏季手当交渉における経営側の認識》

「消費者物価指数」は前年度同比で3%、企業物価指数」は約6%程度上昇。物価の影響は家計や企業に影響は出ているが、政府による対策効果などで上昇幅は縮小しつつあり、今後落ち着いていくと予想している。

経営側の予想とは違い、消費者物価指数は **24ヶ月連続で上昇!**
進む**円安**、1ドル150円へ。**再値上げ**の恐れ。
今年の家計負担は昨年より**10万円以上**増えている。

10月も値上げラッシュ!!
2023年の食品値上げは3万品目超え!



飲食料品(食品、ドリンク類、アイス、お菓子など)
新型コロナ治療薬(公費負担から一部負担へ)
三菱 UFJ 銀行(窓口、他行への振込手数料、3万円未満)
日本郵政(書留、配達証明、代引引換、ゆうパック)
第三のビール(酒税法改正)
吉野家
東京電力(電気料金 前月比)
東京ガス(ガス料金 前月比)

4,634 品目
最大 9,000 円負担
594 円⇒990 円 UP
平均10%UP
約 9 円 UP
最大 20 円 UP
平均 777 円 UP
平均 408 円 UP

物価高騰は、経営側が夏季手当交渉時に示した「政府の対策効果などで今後落ち着いていく」どころか、いまだに続いており、私たちの年収が大きく下げられた中で社員の生計費に大きな影響を与え続けています!

私たちと一緒に「働く者の声」そして「生活する者の声」をあげましょう!

期末手当は年間最低6.0ヶ月以上が必要だ!